

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略

平成 28 年 2 月

苫小牧市

目次

第1章 はじめに

1. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略策定の背景	01
2. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略の位置づけ	02
3. 「PDCAサイクル」による進行管理	03

第2章 苫小牧市人口ビジョン

1. 人口ビジョンの基本的な考え方	05
2. 人口の現状分析	06
(1) 人口動向の分析	06
(2) 市民意識の分析	24
(3) まちの強み弱み(暮らしに関する指標)	29
3. 人口の将来展望	31
(1) 目指すべき将来の方向性	31
(2) 将来展望人口の導出	33
(3) 人口の将来展望	34

第3章 苫小牧市総合戦略

1. 基本目標	35
2. 施策の体系	36
(基本目標1) 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用拡大を実現	43
1-1 市内在住若者の雇用機会の拡大	44
1-2 学生と地元企業との“縁づくり”促進	45
1-3 創業支援	46
(基本目標2) 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備	47
2-1 仕事と子育ての両立支援	48
2-2 出産・子育てしやすさを実感できる支援	50
2-3 苫小牧らしい教育プログラム形成支援	51
(基本目標3) 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進	52
3-1 苫小牧出身者のネットワーク化支援	53
3-2 交流人口・定住人口の拡大支援	54
3-3 “とまごころ(地元自慢の心)”の普及	57
(基本目標4) 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上	59
4-1 進出企業へのサポート機能の強化	60
4-2 多様な産業集積(高度化)の推進	61
4-3 地域間連携の促進	63

第1章 はじめに

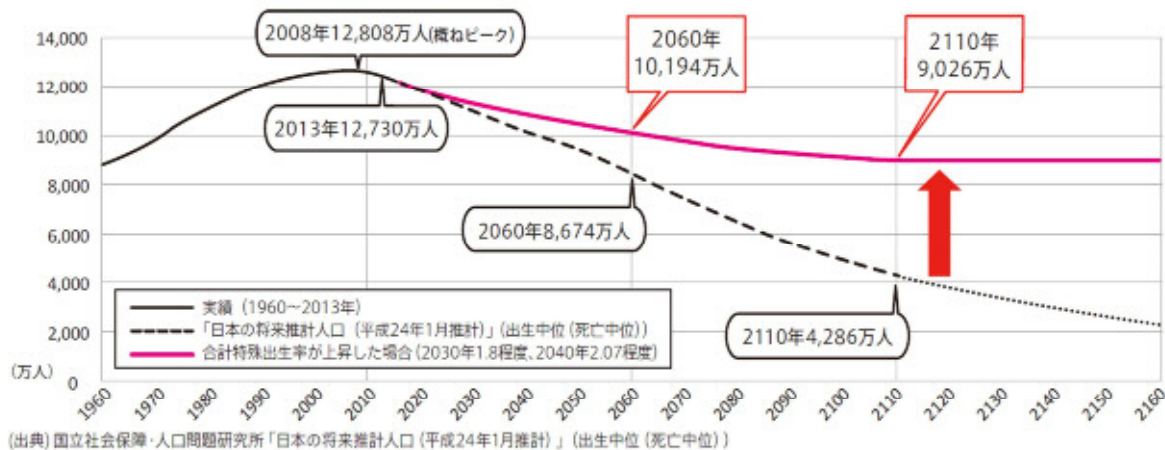
1. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略策定の背景

国が提言する問題と策定の経緯

わが国の人口は、2008年をピークとして減少局面に入っており、今後、2060年には8,674万人となり、2110年には4,286万人まで減少すると推計されています。人口増減に影響を与える出生状況をもみても、2013年の全国の合計特殊出生率は1.43となっており、人口を維持するために必要な合計特殊出生率である2.07を大きく下回っています。さらに、東京都における合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に産む子供の平均数）は全国の中で最も低くなっていることから、東京圏への一極集中が続くと、日本全体として人口減少が加速することが考えられ、短中期的に人口減少が避けられない状況であることが想定されています。

そこで、国（内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部）は、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行しました。その第10条において、地方版の「人口ビジョン」「総合戦略」を策定するよう各自治体（市町村）に要請しており、本市においても産学官金労（言）、女性、若者などの幅広い分野の協力・参画を得て「苫小牧市総合戦略推進会議」を立ち上げ議論を重ね、この度「苫小牧市総合戦略」を策定する運びとなりました。

我が国の人口の推移と長期的な見通し



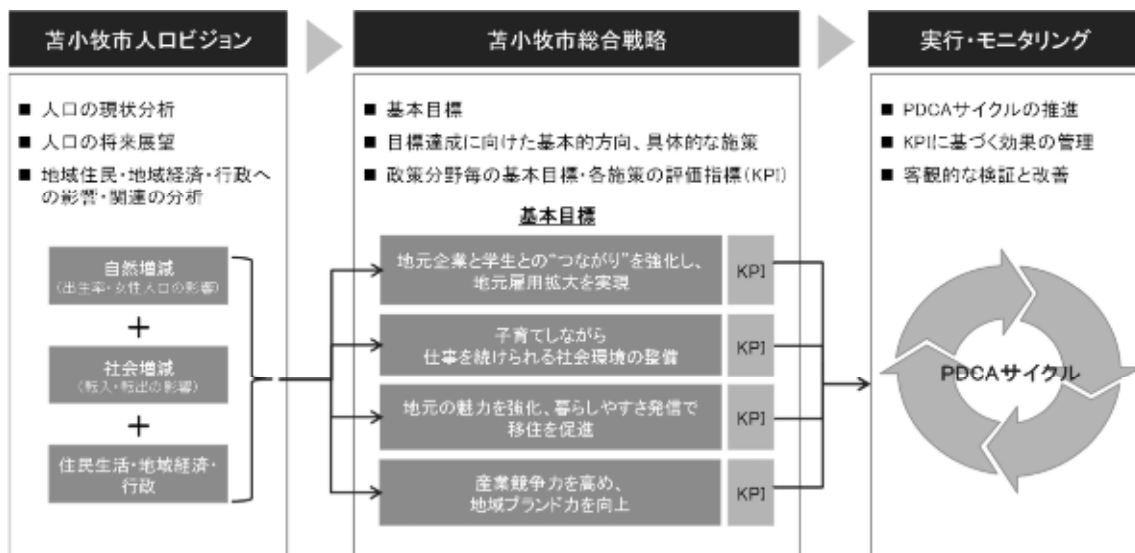
出所:『まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」総合戦略』(内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局)

<http://www.kantei.go.jp/jp/topics/2015/panf20150213.pdf>

2. 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略の位置づけ

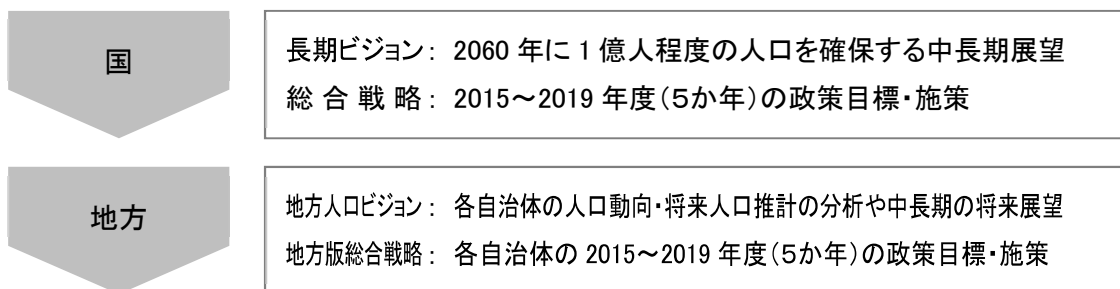
全体構成

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略は、「人口ビジョン」と「総合戦略」の二つからなります。また、実施段階ではPDCAサイクルによるモニタリングを行います。



国の総合戦略との関係

苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定するとともに、苫小牧市における課題や現状を踏まえて策定するものです。



総合計画との関係

苫小牧市総合戦略は、本市が既に策定している「苫小牧市総合計画（平成20年度～平成29年度）」における各分野個別の計画や施策と整合を図りながら、人口減少対策に関する目標や施策をとりまとめ、行政（各部門）の関連する施策を総合的に推進します。

期間

- ・人口ビジョン 2015年(平成27年)～2060年(平成72年)
- ・総合戦略 2015年度(平成27年度)から2019年度(平成31年度)までの5か年

3. 「PDCAサイクル」による進行管理

施策の実施とモニタリング

総合戦略の推進にあたっては、政策分野ごとに各施策の効果を客観的に検証できる数値目標や指標（重要業績評価指標（KPI））を設定しています。PDCAサイクルによる進行管理として、策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）を行うことで、実効性を高めていきます。なお、社会環境の変化、政策・施策・事業の進捗などに状況変化があった場合は、必要に応じて適宜見直すものとします。

KPI計画期間

本総合戦略のKPIの計画期間は、2015年度から2019年度までの5年間とします。



【Plan】 KPI 設定	管理指標(KPI)の決定と責任対象の明確化、管理報告プロセスの定義
【Do】 施策の実行	施策の共有・実行
【Check】 KPIによる評価	KPIに基づく情報収集と評価
【Action】 改善の実施	KPIの期待効果と実績の差異に対する原因詳細分析や対策検討の実施

